

看護師によるエコーガイド下末梢静脈留置針穿刺に関する研究

1 研究の対象

2024年11月～2025年2月に当院を受診される方、入院される方。

2 研究目的

本研究は、看護師による血管確保困難患者さんへのエコーガイド下静脈路確保トレーニングの効果を明らかにすることを目的とします。

看護師によるエコーガイド下静脈路確保の導入に向けたトレーニングが、血管確保困難な患者さんに対して看護師の初回成功率にどのような効果をもたらすかを明らかにし、看護師の業務遂行に寄与することが考えられます。さらには患者さんの苦痛や精神負担軽減にも繋がります。

3 研究方法

末梢静脈穿刺困難な患者さんに対し、エコーを使用せずに実施した静脈穿刺初回成功率と、看護師のエコーガイド下静脈路確保トレーニング受講後の初回成功率を比較し、看護師へのトレーニングの効果を明らかにします。

そのトレーニングとして、模擬腕を使用しエコーガイド下静脈穿刺の手技を取得し、職員同士でエコーガイド下による末梢静脈穿刺を行います。その看護師の手技について指導者による認定を受けた後、更に末梢静脈穿刺困難患者さんへのエコーガイド下末梢静脈穿刺時の看護師の手技について認証を受け、その上で、看護師による末梢静脈穿刺困難患者さんへのエコーガイド下末梢静脈路確保を行います。

4 研究に用いる試料・情報の種類

この研究で得られた結果は、個人情報に関わる情報を削除した上で（実名を隠し個人が特定できないようにした上で）、データの解析などに利用されます。また、研究の結果は学会や学術雑誌等で発表されることはありますが、このような場合でも、個人情報が公表されることは一切ありませんし、研究により得られたデータが他の目的に使用されることもありません。

5 研究参加に伴う不利益・負担

本研究に参加することにより、患者さんに不利益が生じることは無いと考えます。静脈穿刺による神経損傷のリスクについては、今回のエコー機器を使用しての穿刺により増加することはありません。しかし、超音波機器を使用しないケースと同様に神経損傷のリスクはゼロではありません。

本研究に参加することにより、研究参加者の皆様に費用の負担が発生することはありません。

6 研究への参加の自由と同意撤回の自由について

研究への参加依頼は、当日実施する看護師より口頭にて行います。

この研究に参加するかどうかをあなた自身の自由な意思で決めてください。もし、ご不明な点があれば遠慮なくお尋ねください。参加に同意していただける場合には、その旨と実施の結果を看護記録に記載をします。もしお断りになっても、今後、不利な扱いを受けることは決してありません。

7 利益相反について

本研究では、テルモ株式会社より超音波機器（ポータサウンド EVERY）2台の無償貸出の協力を得て実施します。

8 お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

研究責任者 村上 久美

研究者連絡先 kumi.m@southmiyagi-mc.jp